

コロナでこれまで開催が見送られていた行事が次々と再開している今日この頃、皆さまと株式会社アクロスをつなぐコミュニケーションマガジン「ACROSS LETTER 第30号」をお届けします。今号は、新しい補助金制度「こどもエコ住まい支援事業」について書かせていただきました。次号は秋(10月)の予定です。



最近の大規模修繕工事事情

新しい補助金制度「こどもエコ住まい支援事業」が始まりました

(竹井)

マンションの美観や防犯性、耐震性、快適性をアップしたい…。そうお考えの方は多くいらっしゃるのではないでしょうか?実は、新しい補助金制度が始まりました。そこで今回は賢くリフォームできる新しい補助金制度「こどもエコ住まい支援事業」をご紹介します。この補助金制度は工事の完了が令和5年12月31日までとなっております。お早めにご検討ください。

【こどもエコ住まい支援事業とは】

2050年カーボンニュートラルの実現の観点から高い省エネ性能を有する新築住宅の取得や住宅の省エネ改修等に対して補助することにより、**省エネ性能を有する住宅ストックの形成を図る事業**です。



詳しくは、下記サイトをご参照ください。
<https://kodomo-ecosumai.mlit.go.jp/>
以下の改修等で活用できます。



① 玄関扉のリニューアル

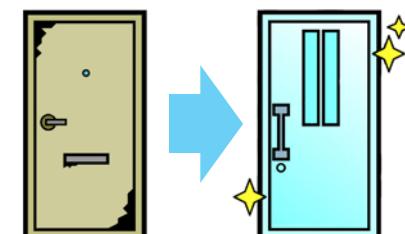
築30年を過ぎると玄関扉は汚れや傷といった老朽化が進み、気密性や操作性が低下していることがあります。また、防犯性の向上や地震対策としてリニューアルをお勧めしています。リニューアルすると…

・美観性アップ

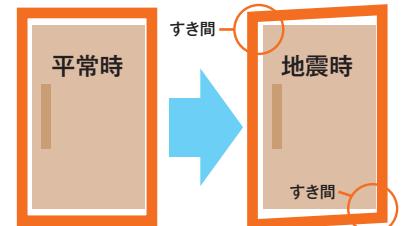
・防犯性アップ(錠前等を交換)

・耐震性アップ(耐震枠を利用)が期待できます。

特に玄関扉周辺にひび割れが目立っている場合などは地震時に壁が損傷し、扉枠が変形する可能性があります。そこで、**耐震枠**を利用することで変形しても閉ざされにくく、緊急避難が容易にできるので、高齢者への配慮と耐震性が高まります。



〈耐震ドア〉すき間があるので歪んでも大丈夫



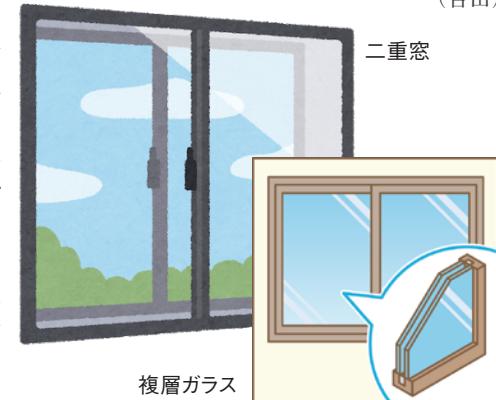
② サッシのリニューアル

窓サッシは築30~40年を過ぎると戸車やクレセントに不具合が生じます。また、それらの不具合に加え、結露や騒音、建付けが悪くなることによるすき間風等が生じます。古い窓サッシであれば断熱性能も劣り、昨今の地球温暖化による暑さ対策で苦慮されている居住者様も多いかと思います。

窓サッシは共用部にあたるため、専有部のリフォームのように皆様が勝手に交換することはできませんので、多くの分譲マンションでは修繕積立金から支出し一斉交換を行います。そのため、マンション全体でみると費用が非常にかさみます。

こどもエコ住まい支援事業では、一定の断熱性能(※1)をクリアしているものであれば窓サッシの交換に補助金が出されますので、この機会に検討してみてはいかがでしょうか。

※1 省エネ基準レベルもしくはZEHレベルの基準をクリアしている事



【余談】ZEHレベルとは…

ZEHとはネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略で、「エネルギー収支をゼロ以下にする家」という意味(経済産業省HPより)。断熱性能の高い住宅で、省エネ性能の高い機器を使い、且つ、太陽光発電などでエネルギーを生み出すことで、家庭内で消費するエネルギーを実質ゼロ以下にする試みのことです。窓サッシの交換で求められるZEHレベルは、この中の断熱性能に関する基準のことで、高い基準をクリアしているものほど多くの補助金を得られます。

最近のアクロス事情

岡山事務所開設から4年が経ちました

(竹井、吉田)



岡山事務所は7月をもちまして開設4周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝いたしております。このたび開設4周年を迎えることができましたのは、多くのお客様に支えられ、皆様のご指導とお力添えのおかげと深く感じております。これを機に岡山事務所一同、皆様のご期待に沿えるようより一層の尽力をしてまいります。

あとがき

6月より、東京本社のビル名が変わりました。「田村ビル」から**日宝神田淡路町クロス**へ変更となりました。住所は変わっておりません。

東京本社も開設から4年を迎え、これからもお役に立つアクロスとして精進してまいりますので、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

ACROSS LETTER発行人 竹井、吉田

